

材料や技術に制限なく

おくちの相談室

【問い】左下の奥歯が抜歯になってしまい、前後の歯を削ってブリッジを入れることになりました。保険外診療で白いものを入れたかったのですが、高額だったので保険診療を選択しました。なぜ、このように差があるのでしょうか。（長崎市、49歳男性）

保険外診療、なぜ高い？

【答え】歯にかぶせる治療にはさまざまな種類があり、特にこの10年ほどでさらに選択肢が増えました。しかし保険診療では「歯の形を修復してかめるようにする」「ことに主眼を置くため、使える金属や材料に制限があります。奥歯のブリッジでは、いわゆる「銀歯」になることが多いのが現状です（条件によって金属以外の選択肢や白い歯を選択できる場合があります）。では、保険外のものは何が違うのでしょうか？ 保険でできるものと同じ「歯」の形をしています。実は大きな違いがあります。保険外診療では、治療で使う材料や技術、歯の形を作る金属、歯科技工さんの手間などに制限がありません。性能の高い金属や材料で、より歯にフィットし、かみ心地の良いものを作ることができます。

す。単に白だけでなく自分の歯に近い形や色を再現できます。毎日快適に使えて、鏡で見たときにきれいな歯が入っている感じが、ストレスが軽減します。むし歯などによるリスクも低減するので、長く使うことができるでしょう。

保険診療だと治療費の1〜3割だけ自己負担するため、保険外診療は高額に感じることも多いようですが、長期にわたって使えることなどに価値を認め、保険外診療を選ぶ人も増えていきます。

一方、ブリッジを長持ちさせるためには質の高い治療に加えて、普段からの自身でのケアと、定期的なメンテナンスが重要です。どんなに良い治療を受けたとしても、この二つを怠っては長持ちしませんし、逆に保険診療を選択せざるを得なかったとしても、きちんとこの二つを行えば可能な限り長持ちさせることができます。今後もしっかりつけの歯科医院で、しっかりとフォローしてもらってください。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒80522-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「80020ながれき」で検索できますので参考にしてください。

回答者

出口 繁

長崎市花丘町
いでぐち歯科院長

